

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校プール改修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	05	54
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	武田 淳				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員	意図	プールの改修、機能低下の改善等の実施による学校プール施設環境の維持、保全
事業内容	・プール及び関連設備（ろ過装置、開閉ドーム）の改修			
事業開始から現在までの状況変化	・東部中、南部中に設置されたドームの開閉障害が、多発 ・ろ過装置等の設備については、補修、改修を実施			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		プールの不具合率	12.50	100	12.50	%	↓↓↓
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・使用期間が短い施設であり、不具合の発見の時期が、限定される。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,352,118	4,427,931	3,835,740			
事業費（b）（円）		3,276,000	4,305,000	3,696,000			
うち一般財源		3,276,000	4,305,000	3,696,000			
職員給与費(c)(円)		76,118	122,931	139,740			
人役・職員(人)		0.01	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.00	0.00				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	プール施設の劣化状況に対応した改修
今年度(H25)に実施した取り組み	プールの開閉式ドームの可動装置の改修を実施

取り組みの課題	使用時期が限定的のため、施設の劣化や不良状態が発見しづらい。
今後の改善計画	プール施設の老朽化に伴う施設改修及び開閉式ドームの保守点検整備の実施